

- 氏名：門野 剛 (モンノ タケシ)
- 会員番号：PE-0160
- 専門分野：Chemical
- 試験日と会場名：2007 年10 月28 日 芝浦工業大学 豊洲キャンパス
- 使用した参考書・問題集：



- ・Reference Manual 基本を押さえ、例題をやる。
- ・Practice Problems Reference Manual の基本事項確認
- ・NCEES Sample Exam 3 回以上やった。問題形式の確認。
- ・Six-minute Solutions 難しい、時間の掛かる問題はとばす。
- ・Quick Reference 公式の使い方を書き込む。
- ・自主ノート 問題の解き方を分野別に書く、大変役立つ。

- 勉強時間：3 ヶ月間程度

1. 合格体験記

私の体験は複数回受験した人に参考になると思います。動機は会社の自己啓発で資格試験に挑戦することでした。長く学校より離れ、現場経験も少なく決して容易い道のりではありませんでした。

(1) 試験勉強

8 月お盆過ぎから本格的に試験準備を始める。まずはReference Manual (教科書) の基本事項を押さえる。大事なことは全分野をまんべんなくやることです。平日の晩は基本事項を1 時間程度、多くやらないこと。やれば長続きしない。土・日はPractice Problems 等问题中心に解く。この場合、問題の解き方を自主ノートにまとめた。特に不得意な分野(抽出・蒸留)は計算式や図等を貼り付けました。分野別にタブをつけ、後に大変役立ちます。土・日の長時間の勉強はつらいですから、短時間寝てすぐ起きてやることの繰り返し。NCEES Sample Exam 等の問題形式を確認しながら、分野を偏らず問題を解いた。

(2) 試験会場

試験の前夜は良く眠ることはできなかつた。日本の会場であるため、時差による影響はなく午後に眠くなることも最小限にできる。試験会場に入り、試験前の注意事項がありスムーズに試験に入れた。まず、順番に解いていった。タバコブレークは無かつた。自信の無い分野である抽出や蒸留は出題されず、COMMSINNING の定義も出なかつた。まあまあ出来かなあと考えたが、やはり迷って選択する問題もあつた。現場関連の問題は経験が無いので消去法で行つた。最後に、問題の解答記号とマークシートの同一を再確認した。2 問の間違いを見付け、訂正した。

(3) 試験後

今回のテストは70%位の自信はあつた。実質60%が合格ラインと言われるがやはり不安であつた。2008 年1月、年明けJSPE内田副会長より合格Eメールを頂き、正直驚きました。幾度も不合格を経験した自分にとって、今回の試験合格をふり返るとその要因は、試験の準備段階で東京より静岡県掛川へ単身赴任で環境が変わつたこと、「素直に力まず」受験したことだと思う。

(4) 登録について

1月にNCEESより合格通知を受取った。それから、登録する州の選択を開始した。オレゴン、カリフォルニア、ワシントンが候補になり、早速各州の要求内容を調査した。結局、F E 合格とリファレンス要求を検討してオレゴンに決めた。そのころ仕事も忙しくなり、登録のアプリケーション作成とリファレンス集めに時間がかかった。結局、5月の連休明けにアプリケーションが完成し、リファレンスを含めてオレゴンへ6月に提出した。その後、リファレンスを再度1通要求され困った。リファレンスは元々、5通社内で内4人PEでその内2人がスーパーバイズで提出したが、最近のものが無いとオレゴンからの要求であった。更に社内で1人見つけて推薦状の内容まで検討し作成した。8月初旬にリファレンスをオレゴンへ送った。その後、オレゴンよりアプリケーションOK通知が来たら、法律と倫理テストも送られて来て、すぐにオレゴンへ解答を郵送した。9月9日付けでオレゴン・ボードで承認され、賞状とカードが送られて来た。これまで、JSPE関係者や勤務先社内より協力・アドバイスを頂き、合格・登録できたことを感謝したい。